

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年2月9日

事業所名:とらいあぐる

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に対しての基準は適正だが、広さ的には十分とは言えないので活動をグループに分けたり、分散するよう工夫している。	・はい29 ・いいえ0 ・どちらともいえない5 ・わからない1	今後も外部施設等を活用するなど工夫していきます。
	2 職員の適切な配置	支援が必要な児童には個別に対応する等、基準以上の人員を配置している。	・はい35 ・いいえ0 ・どちらともいえない0 ・わからない0	今後も適正な配置に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	築古年の賃貸物件の為、バリアフリーにはなっていない。設置の視覚支援は行っている。	・はい30 ・いいえ0 ・どちらともいえない3 ・わからない2	死角が少ないので常に職員が見守り、安全性を確保したうえで活動を行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃・消毒の徹底を心掛けています。	・はい32 ・いいえ1 ・どちらともいえない0 ・わからない2	衛生面とともに、感染症対策にも取り組みながら安心・安全な施設づくりに励んでいきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングにおいて、職員全体で検討し、実施・振り返り評価を行っている。		コロナ禍において働き方改革を推進し、クラウドを活用した情報共有の仕組みを構築していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は行っていない。		今後、検討していきたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンラインの研修を受講したり、定期的に内部研修を行っている。		各種研修には積極的に参加を促し、職員全体のスキルアップに努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用児童ごとにスキルシートを作成し、定期的に支援会議・保護者へのモニタリングを行い、支援計画を作成している。計画に基づき、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を実施している。支援会議に基づき、具体的な支援内容を決定して記載している。	・はい35 ・いいえ0 ・どちらともいえない0 ・わからない0	スキルシートの内容を精査し、利用児童・保護者のニーズに沿った計画作成に取り組んでいく。よりよい支援や具体的な支援内容へと改善していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成			
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載			
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画を達成するために、来所前に各児童の支援計画、および前回までの支援記録を共有したうえで支援を行っている。	・はい35 ・いいえ0 ・どちらともいえない0 ・わからない0	今後も継続していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	常勤職員全員で毎月プログラム会議を実施し、詳細のプログラム内容については都度、ミーティングで決定している。		更なるプログラムの充実を図っていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	利用時間に応じて、課外活動を増やすなどプログラムを工夫している。		利用児・保護者のニーズに合わせてきめ細やかな支援が出来るよう努めていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月に1度季節的な行事活動を取り入れ、週単位でプログラムを構成。年間を通しては、繰り返し経験を積める基本プログラムを実施している。	・はい33 ・いいえ0 ・どちらともいえない2 ・わからない0	利用児が楽しめるよう工夫しながら、更なるプログラムの充実を図って行きたい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日必ず、十分な時間を取って事前ミーティングを行っている。		今後も継続していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	翌朝のミーティング時に前日の状況を報告し、情報の共有に努めている。		気づいた点・気になる点の共有を図っていきます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援記録ソフトを使用することで、支援経過を正確に記録保存し、その後の振り返りも行っている。		職員間で利用児の行動を共有し、次につながるよう記録を記入していく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度保護者へのモニタリング、支援会議を行い、支援計画の立案・見直しを行っている。		今後も定期的なモニタリングを行い、利用児童の成長や変化を見極めて支援計画を立てていきたい。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	児童発達支援管理責任者が担当者会議へ参加している。		会議出席後は職員間で情報の共有を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で の支援内容等の十分な情報共有	十分な情報共有は行えていない。		今後、検討していきたい。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等 についての十分な情報提供、	今のところ、情報提供の依頼はないが必要な場合は行っていく。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	コロナ禍により受講できる機会が減っているが、研修の受講を推奨している。		必要な研修は積極的に参加し、新たな知識や情報を取り入れ支援に生かしていく。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状、障害のない子どもと活動する機会を設けていない。	・はい3 ・いいえ10 ・どちらともいえない6 ・わからない16	今後、検討していきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	年に一度ではあるが、ハロウィン時には近隣の方にご協力を頂き、交流をしている。		今後も活動を広げていこう努めます。
	保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容については、口頭・書面・場合によってはSNSなども活用して伝えている。利用者負担についても同様に実施している。	・はい35 ・いいえ0 ・どちらともいえない0 ・わからない0
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		電話・、または送迎時に保護者に説明を行っている。	・はい35 ・いいえ0 ・どちらともいえない0 ・わからない0	必要に応じて、面談の場を設け説明を行います。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		現状、ペアレントトレーニングなどは行っていない。	・はい11 ・いいえ8 ・どちらともいえない7 ・わからない9	今後、検討していきたい。
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		送迎時に保護者に丁寧に話すことで共通理解に努めている。	・はい35 ・いいえ0 ・どちらともいえない0 ・わからない0	今後も保護者と連携を続け、利用児の状況等の共通理解を深めていきたい。
5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		希望者には個別面談の機会を設け、対応している。	・はい31 ・いいえ0 ・どちらともいえない4 ・わからない0	保護者の気持ちに寄り添った対応をしていけるよう努めます。
6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		現状、父母の会等の活動は行っていない。	・はい3 ・いいえ13 ・どちらともいえない7 ・わからない12	今後、検討していきたい。
7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		契約時に苦情連絡先を説明するとともに苦情に対しては苦情対策マニュアルに則り迅速に対応している。	・はい30 ・いいえ0 ・どちらともいえない1 ・わからない4	改善と説明を速やかに誠実に対応できるよう努めます。
8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		カードの使用、個別スケジュールの準備、事前に予定を保護者にお知らせするなどの配慮をしている。	・はい35 ・いいえ0 ・どちらともいえない0 ・わからない0	更なる配慮に努めます。
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		パスワードを設定したブログにより、活動内容を保護者に公開している。行事予定はSNSを活用し告知を行っている。	・はい33 ・いいえ0 ・どちらともいえない0 ・わからない2	ホームページ等を活用して更なる情報発信に努めます。
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応		個別情報取り扱いマニュアルを策定し、研修を行っている。	・はい34 ・いいえ0 ・どちらともいえない0 ・わからない1	定期的に職員間での研修を行い、個別情報の取り扱いの徹底に努めます。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを策定しているものの情報の陳腐化がみられる。	・はい30 ・いいえ0 ・どちらともいえない3 ・わからない2	各種マニュアルを再確認し、最新のものに更新いたします。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	水害・火災・地震のマニュアルを用意し3か月に1度、訓練を行っています。	・はい32 ・いいえ0 ・どちらともいえない0 ・わからない3	訓練を実施していることへの保護者周知を継続して行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルに則り、年に一度職員研修を行っている。		支援の見直しや虐待に関する見識を深めていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束が必要な児童については、会議で場面・方法・期間等を定め、保護者に同意書を取ったうえで個別支援計画に記載している。また身体拘束実施時には職員間で振り返りを行っている。		今後も身体拘束ゼロを目指して支援方法を検討していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーのある児童の来所時はチェックリストを活用し、アレルギー物質の入ったものがないか2人以上で確認し、食べ物を提供する場所も配慮して該当物質との接触がないよう注意している。		今後も継続していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった場合には文書で報告し、職員全員に周知をし、月1回のミーティングに事例の振り返り、改善について話し合いを行っている。		今後も重大事故を未然に防ぐ取り組みを実施していきます。